

全難言協機関誌 第3号

きこえとことば

早期教育



昭和59年度

全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会

「早期教育」

目次

あいさつ	文部省特殊教育課教科調査官	渡辺 研	2
あいさつ	会長・板橋区立板橋第三小学校長	棚橋 健造	3

I 特別寄稿

1. 難聴に対する治療はどこまで進歩したか	帝京大学教授	田中美郷	4
2. 聴覚と脳	昭和大学教授	岡本途也	6

II 実態調査

1. 全国の早期教育の現状について	全難言協事業部	8
2. 早期発見及び治療・教育機関資料集	全難言協事業部	14

III 研究事例

1. 構音障害児の一事例	吉田 加奈子	31
2. 軽度精神発達遅滞幼児のことばの指導	大谷 由美子	34
3. 重度吃音児の指導	野木 孝	38
4. 難聴児N子の就学指導	内田 栄	42
5. 中学校の難聴学級での指導を経験して	池田 寛	45
6. 教育相談と早期教育	坂元 守治	48

IV 実践報告

— 就学時における言語障害児の発見と治療教育の位置づけ —	岩佐 みどり	51
-------------------------------	--------	----

V 参考文献紹介

全難言協事業部	55
---------	----

・ 第14回東京大会案内 — 分科会発表者公募・推薦 —	東京大会事務局	58
・ 地区だより	静岡市、大津市	60
・ 事業部だより	全難言協事業部	61
・ 編集後記	全難言協事業部	62

題字、全難言協会長 棚橋 健造（板橋区立板橋第三小校長）